

新潟ジュニアドクター育成塾 令和3(2021)年度ドクタープログラム受講生成果発表会 課題研究テーマと研究内容の特徴

令和3年12月26日(日) 13時開始 16時20分終了

発表順	発表者	課題研究テーマ	研究内容の特徴
1	小堀 陽太	メタセコイアはめっちゃすごいや!! ～9600万年も姿を変えずに生きてきた植物の強さの秘密～	メタセコイアという植物を、似た植物のアカマツ、カラマツの生態と比較した。風散布を前提とした種子の飛散実験と、実際の発芽成長記録、各地を巡った記録をもとに、メタセコイアの魅力に迫る。
2	石附 胡来	AIと人が共生する未来に向けた研究	AIと人が共生する未来はどのようにになるのか、ロボットの感情表現をどのくらい人は理解できるのかを研究した。感情をプログラムしたロボットを製作、アンケートを実施しグラフにまとめ考察した。
3	細野 拓真	さつま揚げで食品ロス削減 ～家でもおいしいさつま揚げ～	学校でSDGsの勉強していて、食品ロスは世界で大きな問題になっていること知った。出来たてのおいしさを再現することが出来れば、長期保存した食品をおいしく食べることが出来て、食品ロス問題の解消となる研究をした。
4	諏佐 和香	放散虫と糸魚川の大地と日本海の成立ち ～微化石の観察と放散虫の形～	糸魚川の大地と日本海の成立ちを放散虫の化石から考えます。放散虫の形を調べることで見えてくる海の環境の変化を読み解き、これからの地球環境を考察します。着手したばかりなので、放散虫などの微化石やプランクトンを調べることに重点的に取り組みました。
5	安藤 快仁	揺れすぎる新潟 ～揺れやすさマップ作製～	新潟県は何回も大きな地震に見舞われている。その中でも新潟市近郊に注目し、ほくりく地盤情報システムデータベースのデータを使用し、S波の増幅率を調べた。また、どのような地域が揺れやすいのか、揺れにくいのかを考察した。
6	板垣 成俊	やっと捕まえた放散虫	放散虫は海の中を漂うとても小さな動物性プランクトンである。生きている放散虫を観察したいと思い、日本海(新潟県出雲崎)の海岸へ何度も通い、プランクトンネットで海水を採取し、観察を続けた。倒立顕微鏡を用いてなんとか3個の放散虫を見つけることができ、飼育にも挑戦した。
7	田村 莉愛	トキと佐渡の共生について	トキの餌場となる水田の生きものの豊かさ(生物多様性)と、トキの採餌行動を調べました。佐渡市が行っている認証制度の取り組みによって、トキが生息しやすい環境になっていることを少しでも多くの人に知ってもらえると良いなと思います。
8	笠原 海里	塩の不思議 ～塩が食品に与える影響～	成分が違う5種類の塩を使用して、塩が食品にどんな影響を与えるのかを実験した。さらに、追加実験をして、塩の成分の違いと食品の性状にはどのような関係があるのかについて調べた。
9	秦 萌々絵	心の中をイメージした色の年齢による変化 ～小学生、中学生、高校生の比較から～	小学生、中学生、高校生を対象としたアンケートを行い、年齢による心の中をイメージした色の違いについて調べた。心の中の色を調査することで、心の中の様子を調べた。自分の現在をイメージした色と、他者をイメージした色、自分の将来をイメージした色を比較して、傾向を調査した。
10	鈴木 隆 笹川 円花	新潟市内の海浜におけるマイクロプラスチック汚染調査	新潟市内の海浜16地点から砂試料を採取し、マイクロプラスチック汚染度とその種類を調査した。また、得られた結果から河川や海流の影響や確認できたマイクロプラスチックの数について考察した。